

長年の功績に深く敬意を表します

平成24年度大館市功労者

大館市功労者表彰は、市勢の発展、社会福祉増進、産業の振興、保健衛生の向上など、広く市民の模範となる功労があつた個人や団体に対して行われます。毎年、市の記念日である4月1日に表彰式が行われ、今年度は次の方々表彰されました。



あぶかわ よしまさ
蛇川喜正氏
(櫃崎・77歳)

平成11年から平成23年までの4期12年間、大館市農業委員会委員として、市の農業生産力の発展と農業経営の合理化に尽くし、農家の地位向上に寄与されました。

特に、平成17年から平成23年には、会長として市町村合併後の新たな農業委員会、委員間の融和を図り、円滑な委員会運営に尽くされました。更に同年、秋田県農業会議常任会議員並びに県北地区農業委員会会長の会長として、市町村の枠を超えた活動の活性化に尽くし、農業の発展に寄与されました。



あべ さだえい
安部貞榮氏
(前田・75歳)

平成9年から23年まで田代町議会議員、大館市議会議員として、通算4期13年の長きにわたり地方自治発展に尽くされました。

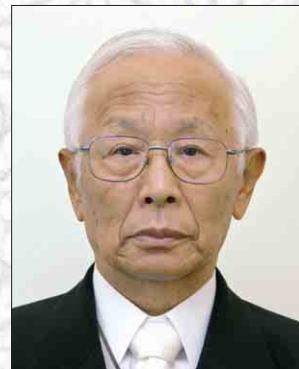
この間、平成15年には田代町議会議会運営委員長、21年には大館市議会議会運営副委員長長の要職を歴任し、円滑な議会運営に努められました。また、住民総参加で行われた山田スキーカーニバルの開催に尽力されるなど、市民の自主的活動を強力に推進するとともに、多彩な手法による地域の魅力の発信に多大な貢献をされました。



おおさかや まさし
大坂谷征志氏
(獅子ヶ森1区・70歳)

昭和50年から平成19年までの通算7期28年の長きにわたり、大館市議会議員として地方自治発展に尽くされました。

この間、建設水道常任委員長や総務財政常任委員長などを歴任し、特に、総務財政常任委員会には18年間在籍し、市の総合開発計画の策定や行財政の安定に尽力されました。また、平成9年から平成13年まで大館周辺広域市町村圏組合議会の議員も務められました。



ささき けんきち
佐々木謙吉氏
(御成町5丁目・78歳)

昭和53年から平成22年までの31年11カ月、民生委員児童委員として、本市の福祉行政に多大な貢献をされました。

また、平成4年から平成21年には保護司として更生保護の推進に努められたほか、平成6年から平成16年の10年間、大館地区少年保護育成委員を務め、地域における少年の非行防止や保護に尽くされました。



なかざわ えいぞう
仲澤鋭蔵氏
(下村・72歳)

37年間の教員生活を経て、平成12年から平成22年までの10年間、教育委員を務め、市の教育振興に寄与されました。

この間、平成14年3月からは教育委員長、同年6月からは平成22年までは教育長を務め、教育の発展に貢献されました。特に、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映させたコミュニケーションスクールや学校の評価の実施など、開かれた教育の推進と学校運営の積極的な改善に尽力されました。こうした功績により、平成23年には瑞宝小綬章を受章されています。